工事成績採点の考査項目別運用表

[記入方法] OKであれば□にレマークを、OKでない場合は×マークを記入し、対象外の場合は-を記入する。

令和 6年4月1日改訂 別紙-3① 十木用(第3評定者) 考查項目 3.出来形及 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 □出来形の測定が、必 び出来ばえ 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 要な測定項目について 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準に基づ 所定の測定基準や規格 I.出来形 き行われており、測定 | き行われており、測定 | き行われており、測定 | き行われており、測定 き行われており、測定 値を満足せず、不適合 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 値が規格値を満足し、 に該当する。 $a \sim b$ ' ($b \sim b$ ' $\stackrel{\text{?}}{=}$) そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 そのばらつきが規格値 の概ね50%以内で、 の概ね50%以内で、 の概ね80%以内で、 の概ね80%以内で、 に該当しない。 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 下記の「評価対象項目」 の 5 項目以上が該当す の 4 項目が該当する。 の 4 (4 注) 項目以上が該 の 3 (3 ^注) 項目が該当 当する。 ※ばらつきの判断は別紙-4参照 別紙-3の作成は別紙-5により行う。 (3)主たる工種 (1) ばらつき判断の可否 ・ばらつき判断できる・ばらつき判断できない。(いずれかを○で囲む) 注 測定結果の打点数が少なく、**ばらつき判断できない場合**は「評価対象項目」のみで評価するものとし、()内の評価項目の数で評価する。 ばらつき判定 測定項目名 (規格値の50%以内の数(測定値数(" 80%以内の数(ばらつき判定結果 ・50%以内 ・80%以内・80%超(いずれかを○で囲む) 【評価対象項目】 1. 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図表を工夫し、作成されていることが確認できる。 2. 不可視部分の出来形が写真・資料等で的確に判断できる。 3. 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。 4. 写真管理基準の管理項目を満足している。 5. 出来形管理図、出来形結果表が漏れなく作成されている。 6. □5. を満足し、竣工図及び出来形管理図表が検測値に差違なく、適正に作成されていることが確認できる。 7. 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。 8.その他(理由 ●判断基準 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ばらつき判断できる ばらつき 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 50% 80% 80% 判断でき 出来形管理とは、「十木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準 以内 以内 招 ない 及び規格値に基づき所定の出来形を確認する管理体系である。 評価 5項目以上 a b b ④ その他は、1~7以外の項目で特に評価する場合などについて、独 項目 4 項目 自に設定するものとする。 b ' b ' b ' 3 項目

(第3評定者) 別紙-329 考杏項目 3.出来形及 ほ 評価対象項目の履行状況(評価値)と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。 品質関係の試験 結果が規格値、試験 び出来ばえ整 備 【関連基準、十木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 基準を超え不適合に Ⅱ.品質 ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 該当する。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。 【評価対象項目】 「区画整理工事」 ①当該「評価対象項目」のうち、 (整地工) 1. 地区内の地表水及び地下水を排除し良好な排水状態で施工している 評価対象外の項目は削除する。 ことが確認できる。 ②削除項目のある場合は削除後の評 2. 表土扱いにあたり、雑物等が混入しないように実施していることが 価項目数を母数として比率(%) 計算の値で評価する。 ③評価値(%)=該当項目数(□ 3. 濁り等の防止に十分留意して施工していることが確認できる。 □ 4. 畦畔は、適正な土質を使用して十分に締め固められている。 /対象評価項目数(□ 5. その他(理由: ④なお、削除後の評価対象項目数が 2項目以下の場合は c 評価とする。 (道路工) 6. 道路築立にあたっては、泥濘化を防止し、締固めを十分に行ってい ることが確認できる。 7. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。 □ 8. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。 □ 9. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。 □10. その他(理由: (用・排水路工) □11. 施工基面は、土質が適正か確認が出来て、かつ、良好な排水状態で施工していることが確認できる。 □12. 埋戻しは、雑物等が混入せず、良好な(過湿・過乾燥・凍土状態でない)状態で施工されていることが確認できる。 □13.付帯構造物(合流工、落差工等)は、現場に合わせて適切に施工されていることが確認できる。 □14. 水路の目地やマチ部の処理が適切に施工されていることが確認できる。 □15. 二次製品の現場検収において、入出荷方法や製品状況をチェックしていることが確認できる。 \Box 16. クラックがない。 □ 17. その他(理由: 「暗渠排水・湧水処理工事〕 □18. 表土と基盤土の混合を防止していることが確認できる。 □19.被覆材の厚さを写真、資料等で的確に確認できる。 □20.配管接合部において、確実に接合されていることが写真・資料等で的確に確認できる。 □21. 施工後に大幅に沈下しない状態(高含水土や凍土混入等でない)で施工していることが確認できる。 □22. 埋戻し後、田面の沈下やわだち、被覆材の散らばり等が少なくていねいに施工されていることが確認できる。 □23. 構造物 (水閘部等) は、維持管理も容易になるよう考慮し適切に施工されていることが確認できる。 □24. その他(理由:

次ページに続く

Ĭ	3.出来形及び出来ばえ Ⅲ.品質	ほ整工	[客土及び耕土搬入工事] □ 25. 石礫等の雑物が混入されていないことが確認できる。 □ 26. 田面は、良好な排水状態で施工していることが確認できる。 □ 27. 客土運搬量を、出来形のほかにその他資料(王取場の測量、運搬車両台数等)で確認できる。・・・[採取土の場合]客土運搬量を、出来形のほかにその他資料(運搬車両台数等)で確認できる。・・・[購入土の場合]名・理搬道路の防塵や路面損傷防止等の対策をし、破損させた箇所は原形復旧している。□ 29. 公道運搬での交通安全対策や過積載についての自社の基準を設定・管理し、それを記録にとどめている□ 30. 気象条件に合わせて作業中止基準を自社で設定・管理し、それを記録にとどめている。□ 31. その他(理由: 「敷砂利工事]*敷砂利工事のみ適用□ 1. 路床面が十分に不陸整正されていることが確認できる。□ 2. 路面の中央部が高く、横断勾配を取って施工されている。□ 3. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。□ 4. 敷砂利材料の敷均しは、砕石の粒度の分離が無く敷厚が均一に仕上がっている。□ 5. 路肩等に路面排水対策が自社の工夫により施工されている。□ 6. その他(理由:)									
							ばらつきで判断可能 ばらっ				ばらつきで	
								50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	
						≐π :	90 %以上	a	a'	b	a'	
						評	75 %以上 90 %未満	a'	b	b'	b	
						価	60 %以上 75 %未満	ь	b'	С	b'	

値

60 %未満

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

b'

(第3評定者) 別紙-3④ 考查項目 種 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3.出来形 管類布設工事 ●評価対象項目 ●判断基準 及び出来 □1. 通りが良い。 該当4項目以上・・・a □2. 付属構造物の肌が良い。 該当3項目・・・・b ばえ □3. 構造物とのすりつけが良い。 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d □ 4. 仕上げが良い。 Ⅲ.出来 ばえ □ 5. 埋め戻しの状態が良い。 ●判断基準 ほ場整備工事 ●評価対象項目 【区画整理工事】※区画整理工として複合して評価が必要な場合に適用する □1. 全体的な美観に優れている。 該当5項目以上・・・a □2. 整地工の仕上がりが良い。 該当4項目 · · · · b □3. 道路工の仕上がりが良い。 該当3項目・・・・c □4.水路工の仕上がりが良い。 該当2項目以下・・・d □5. 構造物等の仕上がりが良い。 □ 6. 構造物とのすりつけが良い。 □7. 地区外とのすり付けが良い 【暗渠排水工事・湧水処理工事】※暗渠排水工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 該当4項目以上・・・a □1. 仕上げが良い。 □ 2. 埋め戻しの状態が良い。 該当3項目・・・・b □3. 通りが良い。 該当2項目・・・・c □4. 暗渠排水の機能が発揮されている。 該当1項目以下・・・d □5. 構造物とのすりつけが良い。 【客土及び耕土搬入工事】※客土及び耕土搬入工事を主体として評価する必要がある場合に適用する。 □1. 全体的な仕上がりがよい。 □2. 耕作上支障ある雑物が表面にみられない。 □3. 小運搬にあたって、基盤の過度のこね回しをしていない。 □4. 運搬道路、進入路等の運搬後の後始末がよい。 □ 5. 土取場の採取後の後始末がよい。「購入土は対象外] ※該当工種からの考査事項で考査し、最大考査事項は5項目とする。 ・・・・採取土の場合 該当工種からの考査事項で考査し、最大考査事項は[4]項目とする。 ・・・・購入十の場合 該当4「3]項目以上・・・a 該当3 [2]項目・・・・b 該当2「1]項目・・・・c 該当1「0」項目以下···d 【敷砂利工事】※区画整理工事の中で道路工を主体として評価する必要がある場合に適用する。 □1. 通りが良い。 該当4項目以上・・・a □2. 敷砂利面の仕上げが良い。 該当3項目 · · · · b □3. 細部まできめ細かく仕上げている。 該当2項目・・・・c □4. 全体的な美観が良い。 該当1項目以下・・d